

放射線診断科

1. 診療科の概要

当科では、CT・MRI・核医学等の画像を読影することを基本とし、適切な撮像方法の工夫、被曝を含めた診療用放射線の管理も行っている。

2. 臨床研修指導医

指導責任者（科長）：畠中 正光

指導医：畠中 正光、山 直也、小野寺 麻希、小野寺 耕一

3. 研修担当者

氏名：小野寺 麻希

連絡先：dpt.diag.rad@sapmed.ac.jp

4. 研修初日の集合時刻と集合場所

集合時刻：9時00分

集合場所：外来棟 地下1階 MR検査室内 MR読影室

5. 到達目標

- ・ 外来または病棟入院中の患者において、様々な症候を呈する患者について、CT、MRI、核医学検査等の画像所見に基づき放射線診断および臨床推論をすることができる。

6. 研修内容

(1) 読影

放射線診断科の初期研修は、1ヶ月目が「胸部腹部骨盤部のCT・MRI」、2ヶ月目が「脳脊髄・頭頸部のCT・MRI」の最低2ヶ月間がBasic Courseとして奨められる。これにより放射線診断の基礎を効率よく学ぶことができる。また各人の進路や希望にあわせて、核医学検査や他の領域のMRIを読影することもでき、興味のある画像を読影することができる。更なるスキルアップのために研修期間を延長すると、Advanced Courseとしてより多くの様々な疾患や複雑な症例を複数のモダリティに渡り読影することで、放射線診断についてより深く研修することができる。

(2) カンファレンス

カンファレンス等を通じて、症例のプレゼンテーション・診断技能について研修する。複数ある各科カンファレンスの中から興味のある科とのカンファレンスを選択することができ、各人の進路や希望にあわせて専門性を高めることができる。

(3) 研究会、勉強会

- ・ 週1回 抄読会、症例検討会、モーニングレクチャー（4月～8月のみ）
- ・ 年3回 北海道画像診断カンファレンス（道内の放射線診断医とのカンファレンス）
- ・ 年1回 国内外の放射線学会に参加、学会発表
- ・ 年数回 国内外の放射線関連の勉強会・講演会に参加し研修

7. 研修医の主な業務

読影レポート作成

8. 研修スケジュール

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月	消化器 外科C	読影			昼休み	読影			乳腺CB	脳外科C		
火	婦人科C	読影			昼休み	読影			呼吸器CB	消化管CB		
水	抄読会	読影			昼休み	読影	泌尿器C	症例 検討会				
木		読影			昼休み	読影			肝胆膵CB			
金		読影			昼休み	読影						

* C：カンファレンス、 CB：キヤンサーボード

9. 研修協力施設

- ・ たすきがけ研修病院（協力型臨床研修病院）
市立室蘭総合病院、函館五稜郭病院